筑前町議会だより

うぐいす

2018.August
CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

●編集発行
筑前町議会広報特別委員会
電 話 0946−42−6622

6月定例会 …… P2
6月一般会計補正予算 …… P3
西日本豪雨災害 …… P7
ここが聞きたい（一般質問） …… P8

第51号
2018.8

年4回発行
5月・8月・11月・2月

6月定例会

6月8日から15日の8日間の日程で開催された。
6月定例会は、報告3件・承認4件・議案8件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決した。

承認

専決処分の報告

平成29年度一般会計補正予算（第9号）

想定を上回るふるさと応援寄附金があり、これを基金へ積み立てる予算が不足したため補正。

※予算の仕組み
歳入に寄附金が入っても、基金とするには、積立金として支出する必要がある。

●筑前町税条例等の一部を改正する条例
●筑前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税等の関連法令の改正が4月1日施行のため改正。

平成30年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

平成29年度の会計で歳出が歳入を上回ったため、繰上充用を行った。

問 住民税の基礎控除が10万円上るが、所得税の基礎控除はどうなるのか。

答 住民税の基礎控除と同じように所得税の基礎控除も上がる。（税務課長）

問 たばこ税について、いくら値上げになるのか、また町にどのくらい還元されるのか。

答 今のところ3年間で国・地方を合わせ一本につき3円上がる。町への還元は今のところ計算をしていないので不明。（税務課長）

問 国民健康保険の課税限度額が4万円増額になるが、対象世帯と増額は。

答 対象は13世帯。約320万円程度増額になる。（健康課長）

議案

工事請負変更契約の締結

町営住宅東小田団地建替工事周辺道路等の整備の変更。

問 町営住宅東小田団地の現在の進捗率と8月31日の竣工に間に合うのか。

答 進捗率は30％程度。竣工後引き渡しは10月になる。（都市計画課長）

問 道路の舗装工事の金額が多くなっているが道路幅が広くなるのか。

答 現行4mを6mに拡幅する工事。（都市計画課長）

条例の一部改正

筑前町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

放課後児童支援員の資格に関する改正。

（※6ページに関連記事）

財産の取得

筑前町基幹系パソコン

更新のために購入。

問 パソコンの更新はいつ決まっていたのか。

答 当初予算で決まっていた。耐用年数は5年だが、7年程度での更新をしており、22年度末に調達したものを更新。

（財政課長）

請願・意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

国で財政再建を目標に地方財政への歳出削減が議論されているが、地方自治体による不可欠な公共サービスの提供及び財源確保は必要であり、本町においても重要。国の関係機関へ「地方財政の充実・強化を求める意見書」を提出する。

選挙

●甘木・朝倉広域市町村圏事務組合議会議員

●甘木・朝倉・三井環境施設組合議会議員

巣野光雄議員ご逝去に伴い組合議員を選出

山本　一洋　議員

6月一般会計補正予算

1,826万円を増額し、総額121億7,347万円

（前年度122億7,453万円）

＜おもな内容＞

歳入	分担金及び負担金 県営暗渠排水事業分担金	810万円
歳入	繰入金 農業振興基金繰入金など	792万円
歳入	諸収入 消防団員公務災害補償費など	224万円
歳出	県営暗渠排水事業	1,620万円
歳出	県消防操法大会出場経費等	428万円
歳出	荒廃森林整備事業	13万円

問 荒廃森林整備事業返還金の歳入と歳出の金額の相違は。

答 整備費の中で事務費10％を除いて返還する。

（農林商工課長）

問 消防費の備品でホース等購入とあるが。

答 消防操法県大会用のホース。

（環境防災課長）

各議員の賛否

平成30年6月定例会

区分	審議結果	議案名＼議員名	深野良二	田口譲司	横山善美	山本一洋	奥村忠義	木村博文	石丸時次郎	山本久矢	川上康男	福本秀昭	梅田美代子	一木哲美	河内直子	田中政浩
報告		平成29年度筑前町一般会計予算の繰越明許費繰越	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成29年度筑前町一般会計予算の継続費繰越	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		専決処分の報告（めくばーる駐車場内での事故）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決	承認	平成29年度筑前町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○
			（反対討論）河内：低所得者層に対しては多少の減額があり評価できるが、納付限度額の大幅な引き上げで納付限度額は年間93万円もの保険税となり、大変な負担を強いるため反対。													
		平成30年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	可決	筑前町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	可決	平成30年度筑前町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成30年度筑前町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	可決	福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県自治会館管理組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町営住宅東小田団地建替工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の取得について（筑前町基幹系パソコン）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選挙	当選	甘木・朝倉広域市町村圏事務組合議会議員の補欠選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		甘木・朝倉・三井環境施設組合議会議員の補欠選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	採択	「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
			（反対討論）河内：意見書には消費税の増税が含まれている。所得の低い方々に多くの負担をかける消費税増税には反対であり、消費税増税が入っていることに対し反対。													
			（賛成討論）田中：地域住民に行政サービス維持継続のために、的確な地方財政措置による安定した財源を確保するために重要であり賛成。													
発議	可決	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
		議員派遣（総務建設常任委員会視察研修）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議員派遣（文教厚生常任委員会視察研修）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※　議長　矢野　勉は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

ちょっとひと息

第四回　民話

弥永の夜泣き松

秋月藩では、福岡へ行く秋月街道に一里ごとに塚を作り道しるべとしていました。秋月から丁度一里の弥永峠に塚を作り、数本の松が植えられ「一里松」と呼ばれていました。

その後一本だけ残った松は、樹齢300年余、高さ22メートル、幹回り5メートルの名木で全国にただ一つだけ、国の文化財と指定されていましたが、昭和34年の台風で危険な状態になり切り倒され、今では一里塚の石碑だけが残っています。

近年に植えられた松

むかし、秋月街道は多くの往来で賑わい、弥永村は大己貴神社の門前町として栄えていました。松の木陰は、行きかう人の休み処でもありました。

ところが、いつの頃からかこの松の木に、気味の悪い噂がささやかれるようになりました。

夜になると、松の木のあたりで女性のすすり泣く声や赤ん坊の泣き声が聞こえてくるというのです。冬の寒い風の日などは、雨戸がガタガタとゆれ、「シオーン、シオーン」と女性のすすり泣く声が聞こえてくるのです。

ある夜、法事帰りのお坊さんがほろ酔いかげんでこの松の木を通りかかりました。その時、あの泣き声が聞こえてきたのです。

腕っぷしも強いが、気も強いお坊さんは、「こらっ、悪さをするのはキツネかそれともタヌキか」と一喝すると、声はピタリと止んでしまいました。帰ろうとすると、また「シオーン、シオーン」と女性のすすり泣く声が聞こえてくるのです。

この話は村中に広まり、村人たちは、あの松の木を「夜泣き松」と呼ぶようになりました。村は、「夜泣き松」の話でもちきりになりました。

「そういやぁ、こん前ん大風で、もう一本の松ん木が倒れた時、切ってしもうたろうが」「そりゃぁ、きっと親子松じゃったじゃろ」「そいで、呼びよるとじゃろか」と、人々は話し合っていました。

そこで、村人たちは、松の木の根元に小さな祠をつくり供養しました。

それから、あの泣き声は聞けなくなったそうです。

参考文献：筑前町
　図書館所蔵
・伝承三輪の昔ばなし
・紙芝居
「弥永の夜泣き松」から

議会も学童保育を応援しています

学童保育所　放課後支援員を募集中

町から委託を受けて3ヵ所の学童保育所（放課後児童健全育成事業）を社会福祉協議会が運営しています。

学童保育所では、小学生を対象に放課後等児童が帰宅しても、保護者が就労等で不在である家庭に代わって保育を行います。

学童保育所は、異年齢による遊びや学習、行事等を通じて、互いに教え合い、伝え合いができ、友達の幅が広がることが最大の魅力です。また、安全第一をモットーに放課後支援員が見守りを行っています。

年々入所希望児童数は増加傾向にあるなか、学童保育所放課後支援員の不足は深刻な状況です。子ども達を楽しく見守ってくれる人を随時募集しています。

【放課後支援員の主な業務】

児童の健康管理、
出席確認をはじめとした
安全の確保

みわっ子 Sun² クラブ

基本的生活習慣の援助、
自立に向けた手助け

活動状況の
家庭への日常的連絡、
情報交換

問合せ先　**筑前町社会福祉協議会**
☎42-4555
※ 雇用要件等は直接お問い合わせください

西日本豪雨災害

昨年の九州北部豪雨の復旧・復興の最中、本年も７月６日に数年に一度の豪雨になり、西日本一帯に死者、行方不明者・負傷者、家屋の流出・損壊など甚大な被害をもたらしました。

本町においても幸い人的被害はなかったものの、ため池の決壊・川の濁流による床上床下浸水・川の氾濫・道路法面の崩壊など340件以上（H30.７.16現在）の被害が出ています。議会においても早期復旧・復興に向けて取り組んでまいります。

被害状況の一部

●決壊した中島池、中牟田小学校の浸水被害、道路陥没

◆ 災害報告受付件数 ◆

●県河川	43件	●町道路	44件
●県道路	13件	●田	84件
●町河川	12件	●水路	61件
●農道	18件	●ため池	21件

●その他（床上・床下浸水含む）52件

●草場川氾濫による農作物ハウス冠水、育成苗被害

草場川の氾濫跡

6月定例会 ここが聞きたい！ 一般質問 町政を問う

6月議会では、7人の議員から15件の一般質問が行われ、町政全般について2日間にわたり活発な議論が展開されました。

なお、全文記録（会議録）については、筑前町ホームページに掲載しますので、ご覧ください。（http://www.town.chikuzen.fukuoka.jp/）

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。

筑前町議会　検索

石丸時次郎　議員

稼ぐ力…意識改革こそ

職員も認識深めつつ

運営形態の一本化で相乗効果を最大限に

石丸　民間との連携の観点から記念館の運営形態は見直すべきでは。

町長　記念館運営は当初の基本理念を堅持し、入館料等を基本にボランティアの協力、ふるさと納税等を活用し公設公営の運営に努める。

石丸　記念館とみなみの里の運営の一本化で相乗効果を最大限に。

町長　記念館は町負担の観光施設。利用者の経費負担は当然。両施設が独立採算を基本にした運営努力が必要。

石丸　自治体は今、稼ぐ力が求められる時代。意識改革を含めた職員教育が重要になるが。

町長　稼ぐ力の意義は職員も認識。予算編成、事業計画時に費用対効果、コスト意識等を指導。新たな財源の研究、確保に努める。

平和のメッセージ
次世代へ

入館者の確保 企画力で競え

石丸　入館料の値上げは来館者の減少、職員の問題解決への意欲を奪うことにならないか。

企画課長　より一層のサービス向上で入館者の確保に努める。安定的な運営が職員の意欲を高める第一と考える。

石丸　入館者の確保は企画力が左右する。具体的な取り組みは。

企画課長　来年10周年を迎える。大きく4つの事業を計画。マスコミ等へ情報発信を行いPRにつなげる。

石丸　グッズの売り上げは減少傾向。対策は。

企画課長　グッズの新規開発は恒常的に取り組んでいる。コーナー拡充を図っていく。

福本秀昭　議員

美和みどり保育所に指定管理者制度の導入を

公立運営を継続

指定管理者制度の導入 公立運営に継続を

福本　篠隈保育所の指定管理者制度は公の施設の管理に民間の能力を活用。制度の導入によって民営化されたが、町の財政負担の影響は。

財政課長　平成25年度に完全民営化され人件費の削減と、運営費に対する国・県の補助金収入により町の財政負担が約6千万円減額となった。

福本　費用対効果の高い予算編成や効率的な予算執行を行う必要があり、民間の幅広い活用も選択肢に、美和みどり保育所の運営を指定管理者制度への考えは。

こども課長　同和保育所として昭和44年に制定された同和対策特別措置法の補助金を利用した。指定管理者制度を検討するにあたり、その経緯と公立の意義を継続していくことが重要と考えている。

健康と安心な保育に全力

人口3万人を目指して

福本　各自治体も人口減少対策に必死だが、筑前町に住んでよかったと喜んでもらえる魅力的まちづくりを強力に進める考えはないのか。

企画課長　平成19年に第一次総合計画を策定し「みんなで創る緑輝く快適空間」を基に食に感謝し平和を願うまちづくりをシンボルテーマとして実施している。

福本　町長がこれまで進めてきたこと、今後の新たな手だては。

町長　記念館とみなみの里の情報発信による交流人口が増加し、住んでみたいと、定住促進へ繋がればよいと思う。

奥村忠義　議員

中牟田バス停に横断歩道の標示を

地元に説明と協議の場を設定する

安心・安全な町づくり

奥村　中牟田バス停付近に横断歩道の標示がなくて困っている。

建設課長　朝倉警察署や朝倉県土整備事務所と継続して、協議している。

奥村　上りの中牟田バス停に待合所がない。また、私有地にゴミが散乱している。

企画課長　現状を確認して、対策については関係機関と協議する。

奥村　高齢者の免許証返納を推進しているが、高齢者に優しい町づくりのためにも環境の整備を。

町長　危険個所だと認識している。地元からの盛り上がりも起こしていただきたい。

危険が潜む通学路

奥村　過去に防犯カメラ設置の件で質問していたが、その後の検討は。

環境防災課長　関係機関から情報収集を行い、注意点を整理した。補助事業についても調査している。

奥村　アフタースクールや中学校の放課後授業では、一人で下校している児童生徒がいるのでは。

教育課長　危険と思しき箇所には関係機関と現地点検を行い、対応策を協議している。

奥村　交通安全プログラムで、飛び出し人形等設置の進捗状況は。

教育課長　既に設置が済んでいる箇所もある。

奥村　変質者から身を守る、安心・安全のプログラムの作成は。

教育課長　不審者対策の調査結果も含めて、通学路安全プログラムの中に記載している。

あったらいいな、横断歩道

こども支援を

奥村　給食費の助成を。

教育長　財政面から現時点では難しい。

木村博文　議員

生活道路が狭くて危険な所があるが

関係機関と連携して改善に努める

道路が狭くて危険

木村　間片交差点や栗田信号南側等、道路が狭く危険だ。解消するための手立ては。

建設課長　関係者の同意が必要で、協力が得られれば、関係機関と連携して進めたい。

要望の未処理が多い

木村　各区からの要望の処理が進んでいないが。

建設課長　財源に限度があり、職員でできる事は直営施工をしたり、他の関連事業でできる物はないか精査していく。

木村　長野県下条村で、小規模な土木工事は住民自らが行う資材支援事業という取り組みがあるが、本町で取り入れられないか。

建設課長　町の財政面等で効果があると考える。参考にしていきたい。

町長　本町で取り組むのは困難だが、住民の意識改革の面で非常に参考になる取り組みだ。

狭くて危険な生活道路

買い物困難地域の対策

木村　町内で日常の買い物が困難な地域がある。総務省行政評価局は、行政上の課題と捉え積極的に関与していく事が重要と指針を出しているが。

町長　高齢社会や人口減少により店舗の出店が社会問題になり行政が手当てをしなければならないと理解するが採算性が問題となる。

用途地域の見直しを

木村　都市計画基礎調査の進捗状況と課題は。

都市計画課長　西部地域の準工業地域を含む用途地域の見直しについては第2次総合計画と照らし合わせながら継続的な検討をしていく。

その他の質問

花いっぱいの町づくりについて

導入促進基本計画を急げ

梅田　3年間、中小企業の設備投資を支援する「生産性向上特別措置法」成立を受け、町は速やかに「導入促進基本計画」を策定し固定資産税はゼロに改正を。

農林商工課長　早急に計画を策定し中小企業の積極的設備投資の一助になるよう進める。9月議会に間に合わせたい。

税務課長　物づくり交付金等、納税者が有利になる方向で考える。

梅田　企業が「先端設備等導入計画」を策定し活用するには商工会との連携、指導体制が必要だが。

農林商工課長　情報発信、指導等含め商工会に協力をお願いしたい。

梅田美代子　議員

住み良い町のために

梅田　庁舎内は全面禁煙となったが、敷地内には灰皿設置個所が多数ある。健康増進のため撤去を。

財政課長　喫煙場所の変更、撤去を行う。

梅田　2回目のはしかワクチン接種に助成を。

健康課長　現時点では考えていない。

梅田　子育て支援センターで昼食ができない理由は。

こども課長　ワンフロアで衛生上の問題や食べ物をめぐって保護者間のトラブルがあった。

梅田　昼間の使用頻度が低い公民館支館を子育て支援センターとして有効活用しては。

町長　一つの案として今後研究していきたい。

梅田　LGBTに配慮し学ラン・セーラー服をブレザーの制服に。

教育課長　周りに耳を傾け機能性とLGBTの立場から、制服検討委員会を含めた研究が必要と考える。

商工会との連携が不可欠

中小企業の設備投資に支援を

9月議会に間に合わせたい

山本一洋　議員

スポーツで地域の活性化を

各団体に呼び掛けをする

スポーツ教室・大会で積極的誘致を

山本　各種スポーツ教室や大会誘致することによる、地域の活性化を図ってはどうか。

生涯学習課長　補助事業を活用し、4団体が町内大会を実施した。

山本　子どものレスリング大会が本町で開催された時には、九州一円・山口・四国から総数で700名の方が参加されたそうだ。このような大会を誘致する事により、交流人口増加につながらないか。

生涯学習課長　町内のスポーツ団体に呼び掛けをしていきたい。

山本　大事なのは仕掛けを行う事ではないか。町内の人を活かした方策を考えてほしい。

教育長　仕掛けは大事だ。地域の方の協力を得られるような、手立てを考えていきたい。

慰霊祭で平和を考える一日に

山本　遺族会員の高齢化に伴い、忠魂碑・忠霊塔の維持管理を危惧する。関係課・関係団体との検討委員会を設置すべきではないか。

企画課長　関係機関の意見や、教育の見地からの判断や検討が必要。

山本　追悼式については、会場を含め、平和の日というような形の設定を。

企画課長　関係課や遺族会とも協議をしていきたい。

レスリング大会が開催

10年記念事業について

山本　みなみの里開業10年記念式典が行われたが、祝賀会が福岡市内で行われたと聞く。近隣市町村での開催ができなかったのか。

町長　自治法を根拠とした会議規則により第三セクター等の質問については、町長は回答の立場にない。しかし町長としての考えは述べられると判断している。

河内直子　議員

学校給食の無償化を

理想は無償化

公会計化は給食費無償化への第一歩

河内　給食費の公会計化は、教員の事務負担軽減策の一つ。実施主体である自治体が財政面でも責任を負う法律に則った本来あるべき姿と考える。見解は。

教育課長　教職員の負担軽減の一つと考えている。今後、県の情報提供や他自治体の動向を注視し研究していく。

河内　韓国では小学校94％、中学校76％が給食費無料。無償化を進めるのは国の責務。給食費無料化の考えは。

教育長　国の支援等がない現段階では難しい。

町長　理想としては無償化だが現実的には困難。国等への要望を強めていきたい。

学校給食は食育

保険料が2年で5倍

河内　後期高齢者医療の保険料の軽減特例措置の縮小・廃止で、元被扶養者で年金収入169万円の方は28年度5千600円が30年度2万8千40円と5倍になる。広域連合に対し、独自の措置を講じるよう提言すべきでは。

町長　制度の安定性・維持を考えたものであり、独自の軽減策提言は、今考えていない。保険料負担の増加抑制が図られるよう取り組みを要望していく。

炭焼窯はどうなる

河内　炭焼窯の屋根・柱が撤去されているが今後、どのような方向性で存続していくのか。

農林商工課長　みなみの里の隣接地に道の駅構想や観光イチゴ園の計画もあるので、総合的に当該施設にふさわしい利用方法を検討したい。

傍聴をしての感想

議員が地域や現場に何度も足を運び、一つの案件を何年もかかって継続的に調査し、担当課とともに要望を実現させようとしている姿に感心しました。また、町長や課長も具体的に誠実に答弁され、少しでも住みよい町づくりに努めてあります。

私たち住民も公助から自助へと自分たちでできることはするという意識を変えることを学びました。（Y・Iさん）

町の発展のために、町行政と議会が共に議論することは大変有意義な事だと思う。今後も積極的な検討をしてほしい。（M・Kさん）

議員の質問もきちんと整理され、なかなか良き話でした。町民を考慮されている様子が判り嬉しく思いました。（M・Oさん）

6月定例会の傍聴者数は19人でした。傍聴はどなたでもできます。多くの方をお待ちしています。

傍聴へどうぞ！

平成30年
9月定例会（予定）

●開会
9月 4日（火）10：00～
●一般質問
9月 6日（木）10：00～
～10日（月）　〃
●決算審査特別委員会
9月12日（水）10：00～
～14日（金）　〃
●閉会
9月18日（火）14：00～

※会期予定は8月21日の議会運営委員会で確定のため、変更する場合があります。

一般質問公開のご案内

開会前からホームページで公開
「筑前町議会」⇨「定例会・臨時会情報」⇨「一般質問通告書」をクリック！

vol.20 街角TOPICS　中学校アフタースクール

中学校アフタースクールがスタート！

いよいよ中学校アフタースクールがスタートしました。アフタースクールは、基礎的・基本的な学習内容の定着、高校入試対策として毎週二回、夜間に各中学校で実施します。講師には高い専門性、指導力および英語科・数学科の指導経験を有した方々が行います。

現在、三輪中学校61名、夜須中学校84名の生徒が意欲的に学んでいます。（教育課　大内田　優）

三輪中学校

夜須中学校

編集後記

先日の西日本豪雨災害により、多くの方がお亡くなりになりました。心からお悔やみ申し上げます。また、筑前町でも多くの方が被災されました。衷心よりお見舞い申し上げます。

私たちは、これまで多くの災害で被災地の人たちの復興を願い、義捐金やボランティア活動をしてきました。

災害復興で大事なことは災害のことを忘れずに支援を続けること。そして、災害の教訓を風化させることなく後世に継承することです。

議会も皆さんと共に復興にむけて努力していく決意です。（深野良二）

発行責任者
議長　矢野　勉
議会広報特別委員会
委員長　横山　善美
副委員長　山本　久矢
委員　深野　良二
委員　奥村　忠義
委員　梅田美代子
委員　河内　直子

印刷／井上紙工印刷㈱　福岡県朝倉市持丸625-1　☎0946-22-3951